



一步前へ!

クロネコヤマトの宅急便のCM『一步前へ』ではない。
 人間は誰も夢を持って生きている。
 その夢が大きいか・小さいかの差はあれど夢がなければ、人間は生きていけないことは事実。
 日本では毎年約3万人が自ら尊い命を絶つ。
 その自殺の原因は何か?
 たった一つ、それは『夢』
この「夢」を失った時、人は生きるすべを失うのだ。
 『男性は夢を食って生きている生物だ・女性は男の夢を食って生きている生物だ』と論評した評論家がいた。
 今の時代、狼のように夢を追いかけて、日々夢の現実に没頭するクールな男は減った。
 逆に、女性は夢の実現のために、一步一步前進していく。
 バイタリティー溢れる素敵な人が増えている。
 『千里の行も足元より始まる』(老子)
目的地がはるかかなたに感じられる時、そのあまりの遠さに、迷いや不安を抱くのが人間だ。
だが、どんなに遠い道のりも、最初の一步を踏み出し、着実に一步一步、歩を進めていけば、目的地にたどり着くことが出来る。と説いているのだ。
 まずは足元から始まる。 **一步前へ!**



情報提供: 特別情報紙

電気の要らない自動ドア



買い物の荷物で両手がふさがっている時、車椅子で部屋を移動する時...など、家の中でも「自動ドアがあったら楽なのに」と思わせることがある。
 有紀(福島県会津若松市)の「オートドアゼロ」は、電気エネルギーを使わず、踏み圧によってドアを開閉させる仕組みの自動ドアだ。
 基本構造は床下に埋め込んだ踏み板を踏むことによってゆっくりドアが開く仕組みになっている。利用者がドア前後の床下に埋め込んだ踏み板に乗るとドアが開き、降りるとドアが閉じる。
 体重20kgから対応する。
電気工事費、ランニングコストが一切不要だけでなく、安全性も高い。
 踏み板部分に体重がかかっている状態であれば、立ち止まっても扉に挟まれないし、ゆっくり通過しても確実にドアは開く。また、電気工事不要のため、漏電・感電もなく安全で、自宅用の自動ドアに最適だ。何よりメンテナンスフリーという点でメリットが高い。

バリアフリーに最適

体重をかけると、床下に埋め込まれたパンタグラフ式の機構が稼動することで開くドアなので、安全で省エネです。停電時にも動きますし、店舗や介護施設などでも利用されています。(橋本保 社長)

情報提供: リフォーム産業新聞

「建築物省エネ法」の一部施行日と整備政令が閣議決定



国土交通省は11月25日、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」(「建築物省エネ法」)の一部の施行期日を定める政令と、同法の一部施行に伴う関係政令の整備に関する政令が閣議決定されたと発表した。
 公布日は11月30日、施行期日は2017年4月1日。

「建築物省エネ法」は、昨年7月8日に公布され、誘導的措置については今年4月1日施行、規制措置については公布日から起算して2年を超えない範囲内で施行すると定められていたことから、規制措置に関する当該部分の施行期日を定めたもの。

関係政令の整備に関する政令では、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行令」と「地方住宅供給公社法施行令」等の一部改正を行うことを定めた。

情報提供: 国土交通省